

国連大学協力会 2007 年度事業報告

FY2007 Operational Report

【基本方針】 [Basic guidelines]

2007 年度における国連大学の諸活動は、前年度に引き続き、国連が主唱する“持続可能な環境・開発による持続可能な社会の実現”及び“持続可能な教育”を目指した研究・研修活動に重点が置かれた。このことから、07 年度における国連大学協力会の事業計画は、国連大学のそれらの活動を資金的に支援するための計画的な取り組み、及び国連大学の当該活動に対して、我が国国民の関心を高め、支持を強化するための戦略的な取り組みを積極的に展開しながら、本法人の公益事業の活性化を図ることを基本方針とした。

【事業報告】 [Operational report]

I 寄附金募集活動 [Fund-raising Activities]

1. 「国連大学 “グローバル サステナビリティ プログラム” 支援募金」活動（継続） [Fund-raising programme for United Nations University's "Global Sustainability Programme" (ongoing)]

本法人では、国連大学の“持続可能な環境・開発による持続可能な社会の実現”及び“持続可能な教育”に資する研究及び研修活動を強力に支援できるよう、06 年秋に国連大学「サステナビリティ プログラム」支援募金計画を策定した。

07 年度は 2015 年が国連大学創立 40 周年であることに鑑み、計画を一部変更し、一般寄附の他、信託基金への拠出を含め、40 周年記念募金事業として 2015 年までに 30 億円の募金を目標とする「国連大学 “グローバル サステナビリティ プログラム” 支援募金」（以下、「サステナ募金」という。）としたうえで、「サステナ募金活動準備委員会」を設置し、募金活動の具体的な方策や展開方法について検討を行い、関係各所との協議ならびに募金要項の作成等を進めた。

2. 一般寄附金 [General donations]

「一般寄附金」は、広く国民から随時に受け入れる寄附金であり、07 年度において本法人が受け入れた個人及び法人・団体からの一般寄附金の総額は、24,905,340 円であり、その内訳は別表 (P6) のとおりである。

3. 賛助会費 [Dues from supporting members]

国連大学の活動を継続的・安定的に支援するために、個人及び法人・団体からの「賛助会費」による寄附金募集は極めて重要であり、ウェブサイトによる広報の他、国連大学が開催するグローバル・セミナーやシンポジウム、各種イベント等の機会を活用して、関係書類を積極的に頒布し、会員の募集に努めた。07 年度において、賛助会費収入の合計は 1,836,100 円であり、会員種別による内訳は個人会員 185 件、法人会員 2 件であった。

II 国連大学への助成活動〔United Nations University Support Activities〕

国連大学への助成に当たっては、国連大学が真に必要なとする分野の活動について、事前に国連大学関係者との十分な連絡調整のもと、助成対象事業などを検討するとともに、具体的助成事業の選定・助成額配分などについては、「国連大学協力会助成・寄附諮問委員会」による十分な審議を経て行った。07年度の国連大学への助成金額は、合計30,070,250円であり、助成対象となった国連大学のプログラムは以下のとおりである。

1. 国連大学の研究活動に対する助成〔Support for UNU Research Activities〕

07年度において国連大学が重視している“持続可能な環境・開発・平和”に関する研究活動に対し重点的に助成した。

(1) 環境と開発分野〔Environment and Development Category〕

① アジア沿岸水圏における環境測定と管理プロジェクト（継続助成）

〔Environmental Monitoring and Governance in the Asian Hydrosphere (ongoing support)〕

日本、中国、韓国、ベトナム、フィリピン、マレーシア、タイ、シンガポール、インドネシア、インド、パキスタン等の沿岸水圏（海水、河川水、湖沼）の汚染を防止するため、各国の公的機関や大学の環境汚染化学物質の分析能力向上を目指して行う調査・研究である。ダイオキシンやPCBなどの残留性有機汚染物質の検査技術の向上を図り、アジア水圏の良好な環境監理を目指す事業。

② ゼロエミッションフォーラム（継続助成）

〔Zero Emissions Forum (ongoing support)〕

環境の質の保全と持続可能な開発を同時に達成するために、これまでの生産のあり方と消費形態のあり方を見直し、資源利用の最適化及び廃棄物の最小化を促進するための技術開発と市民活動の展開を促す研究・実行プロジェクトである。そのため、幅広い産業界と市民層を巻き込んだ、廃棄物相互利用による資源の最大活用と、廃棄物の排出削減との両立を目指す研究事業。

(2) 平和とガバナンス分野〔Peace and Governance Category〕

① 永井道雄記念講演会（継続助成）

〔Michio Nagai Memorial Lecture Series (ongoing support)〕

本財団の創設者であり、国連大学の活動の推進に尽力した永井道雄氏を記念し、国連大学の役割と貢献などについて、毎年、今日的な問題に照らして検討を行う講演会。

② ロザリン・ヒギンズ講演会（新規助成）

〔Lecture by Rosalyn Higgins (new support)〕

外務省、国際連合大学（UNU）との共催で、国際司法裁判所のロザリン・ヒギンズ所長を国連大学に招いて、開催した来日記念講演会。

2. 国連大学の研修活動等に対する助成〔Support for UNU Training Activities〕

① 国連大学グローバル・セミナー（継続助成）

[UNU Global Seminars (ongoing support)]

国連大学が行っている研修活動のうち、国内 7 地域及び韓国、ハワイなどで開催されるグローバル・セミナーは、毎年、幅広い観点から、国際平和と環境・開発の問題を取り上げてきた。このセミナーは、日本の若者も多く参加することから、本法人としても従前より強力に支援してきた。07 年度は、そのうち湘南セッション及び沖縄セッションに対して支援した。

② 鳥瞰型環境学サマースクール（継続助成）

[UNU Summer School for Bird's-eye-View Environmental Science (ongoing support)]

国連大学の活動の主要テーマである環境問題に関し、主として大学院博士課程レベルを対象とした環境学・環境問題に関する専門研究者・実践専門家の養成を図る事業。環境問題の今日性及び専門家養成の重要性に鑑み、継続的な支援を行った。

3. 国連大学の施設・整備に関する助成 [Support for the enhancement of UNU facilities]

① 国連大学本部の施設維持特別助成（継続助成）

[UNU Centre facilities maintenance special support (ongoing support)]

国連大学本部の施設維持について支援した。

② 国連大学図書館図書購入費（継続助成）

[UNU Library Book Procurement Fund (ongoing support)]

国連大学図書館の蔵書の充実に資するため支援した。

III 国連大学からの委託事業 [Operations Delegated by UNU]

① 国連大学研修事業における諸費用の徴収事務（継続事務）

[Collection of Fees from UNU Training Operations (ongoing administrative support)]

国連大学が実施する事業の業務遂行の合理化を図る観点から、研修事業において、主として日本人参加者からの諸費用徴収にかかる事務について、国連大学からの委託を受託した。

IV 国連大学への国民の関心を高め、支持を強化するための事業

[Programs to strengthen public interest and support for UNU]

国連大学の活動が世界の平和構築、持続可能な地球の実現に不可欠な活動であることについて広く国民の理解を得、幅広い国民各層が国連大学の活動に高い関心を寄せ、強力な支持が得られるよう、広報普及活動を積極的に推進した。

(1) 広報分野 [Publicity Category]

① 広報用パンフレットの作成・改定（継続事業）

[Creation of publicity pamphlets (ongoing support)]

国連大学と本法人の活動内容をより具体的に伝えるよう、各種パンフレットの改定を行うとともに、英語版も制作し、積極的に頒布した。さらに、「国連大学協力会

ニュースレター」をリニューアルし、イベントの様様や国連大学の研究・活動内容、国連大学本部ビルの施設紹介等の記事を掲載した上で、賛助会員を中心として幅広く頒布した。また、賛助会員及び本法人イベント参加者を対象として、メールマガジンを発行し、国連大学と本法人の活動に関わる情報提供と広報に努めた。

(2) 講演会等分野 [Lecture Category]

① 気軽な講演会等の開催 (新規)

[Holding Public Lectures, etc. (new)]

幅広い国民や企業関係者などの国連大学及び国連大学協力会への関心と支持を高めるため、国連関係機関や国連大学の活動と人々の生活、企業活動との関連など、身近な問題から国連大学の活動の重要性を認識してもらえるよう、一般市民が参加できる講演会を下記のとおり実施した。

1) ロザリン・ヒギンズ講演会

[Lecture by Rosalyn Higgins]

4月11日(水)、外務省、国際連合大学(UNU)との共催で、国際司法裁判所のロザリン・ヒギンズ所長を国連大学に招いて、来日記念講演会を開催した。講演会は「より良い世界に向かって～国際社会と法の支配～」をテーマとして、第1部はヒギンズ所長による基調講演を行い、第2部では、ヒギンズ所長、駐日大使、ジャーナリスト、学者等によるパネルディスカッションを実施。関係者、一般市民合計約300名が参加した。開催にあたっては最高裁判所、法務省、日本弁護士連合会、日本経済新聞社、日本司法書士会連合会等より後援ならびに協賛を得た。

2) 国連人口基金東京事務所長講演会

[Lecture by Director of United Nations Population Fund (UNFPA) Tokyo Office]

12月14日(金)に「UNU研修コース同窓会設立総会」を開催するにあたり、池上清子国連人口基金東京事務所長を招いて、一般市民も参加対象とした公開講演会「ミレニアム開発目標と国際保健」を開催した。研修コース修了生ならびに一般市民約120名が参加した。

(3) 調査・研修等分野 [Investigative and Training Category]

① UNU研修コース同窓会 (新規)

[UNU Capacity Development Course Alumni Association (new)]

国連大学本部では、国際社会が直面する緊急課題の解決のための研究者や専門実践家の養成を目的として、グローバル・セミナー、国際講座、大学院共同講座等の研修コースを実施し、多くの修了生を輩出している。

本法人では07年度国連大学と連携したうえで、それらの修了生が研修修了後も相互に情報交換を行い、それぞれの活動に関する知識や情報を共有できるよう12月に「UNU研修コース同窓会」(以下、「同窓会」という。)を組織・設立した。今後、本法人が事務局として、修了生の中から選出された同窓会幹事と協議の上、運営事務にあたることとなった。

V 本法人の管理運営に関する事項 [Items concerning jfUNU Administration]

08年（平成20年）に予定されている新公益法人法の施行に伴う課題について検討を進めた。

以 上

<国連大学協力会 2007年度事業報告 別表>
 <FY2007 Operational Report Annex>

2007年度 寄附金収入及び国連大学への助成実績一覧
 List of Donations and Other Support Given to UNU in FY 2007

寄 附 金 収 入		金 額
一般寄附	個人 5件 法人 25件 (五十音順) 旭化成株式会社、アサヒビール株式会社、 株式会社アース環境開発、財団法人安達峰一郎記念財団、 株式会社沖縄海邦銀行、株式会社沖縄銀行、 沖縄電力株式会社、オリオンビール株式会社、 キッコーマン株式会社、財団法人国際民商事法センター、 シマダヤ株式会社、株式会社島津製作所、 社団法人商事法務研究会、 社団法人全日本不動産協会沖縄県本部、 第一生命保険相互会社、株式会社電通、 那覇空港ビルディング株式会社、日産自動車株式会社、 日本司法書士会連合会、日本弁護士連合会、 株式会社パークレー・リアルティー沖縄リミテッド、 東日本旅客鉄道株式会社、前澤工業株式会社、 丸正印刷株式会社、株式会社琉球銀行	24,905,340 円
賛助会費	個人会員 185件 法人会員 2件	1,836,100 円
合計額：		26,741,440 円

国 連 大 学 へ の 助 成	金 額
・アジア沿岸水圏における環境測定と管理プロジェクト	16,826,000 円
・ゼロエミッションフォーラム	1,914,250 円
・永井道雄記念講演会	200,000 円
・ロザリン・ヒギンズ講演会	530,000 円
・国連大学グローバル・セミナー湘南セッション	2,040,000 円
・国連大学グローバル・セミナー沖縄セッション	1,560,000 円
・鳥瞰型環境学エキスパート養成 UNU サマースクール	1,950,000 円
・国連大学本部の施設整備助成金	5,000,000 円
・国連大学図書館図書購入費	50,000 円
合計額：	30,070,250 円